

[成果情報名]オウトウ品種「紅秀峰」は垣根仕立て栽培への適応性が高い

[要約]オウトウの垣根仕立て栽培において、結実性の高い「紅秀峰」は適応性が高く、密植することで、立木仕立てよりも多くの初期収量が見込める。

[キーワード]オウトウ、紅秀峰、垣根仕立て

[担当]岩手農研セ・技術部・果樹研究室

[代表連絡先]電話 0197-68-4419

[区分]東北農業・果樹

[分類]研究成果情報

[背景・ねらい]

オウトウの垣根仕立て栽培は、立木仕立てよりも樹体がコンパクトであるため、密植が可能であり、管理作業の省力化も期待できるが、岩手県での適応性は十分確認されていない。そこで、豊産性品種である「紅秀峰」を用い、岩手県での垣根仕立て栽培への適応性を検討する。

[成果の内容・特徴]

1. 植栽距離を列間 2.5m×樹間 2.5mとした「紅秀峰」の垣根仕立て栽培は、立木仕立てよりも 10 a 当たりの初期収量が多く見込める（図 1、表 1）。
2. 垣根仕立て栽培における果実品質は立木仕立てと同等である（表 2）。
3. 垣根仕立て栽培では、立木仕立てに比べ夏期管理（摘心）の作業時間が多くなるが、整枝剪定の作業時間が少なくなることから、合計した作業時間は概ね同等である（表 3）。果実 10kg 当たりの収穫時間は、いずれの仕立て方とも同程度である（表 3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 垣根仕立て栽培は、植栽 6 年後の成園化が可能である。成園後は必要に応じ間伐を実施する。
2. 垣根仕立て栽培は樹高が 3 m 程度で作業者の危険度や身体的負担が低いため、観光果樹園での利用や女性、高齢者にも適する。

[具体的データ]



図1 成園時の樹体の状況(左：垣根仕立て、右：立木仕立て)
注) 垣根仕立ての側枝は、50cm 間隔で支線に水平誘引した

表1 「紅秀峰」の10a 当たり初期収量 (単位：kg)

| 仕立て法 | 植栽距離 (列間×樹間) | 植栽本数 /10a | 年次 | | | 計 |
|------|-----------------|--------------|------|------|-------|-------|
| | | | 2011 | 2012 | 2013 | |
| 垣根 | 2.5×2.5m | 160 | 48 | 112 | 2,368 | 2,528 |
| 立木 | 5×2.5m | 80 | 0 | 64 | 1,328 | 1,392 |

注)定植年：2007年 垣根仕立て：ハイオスパー6台木、立木仕立て：アハサクラ台木

表2 「紅秀峰」の果実品質

| 仕立て法 | 果重(g) | | | | 糖度(Brix%) | | | |
|------|-------|------|------|-----|-----------|------|------|------|
| | 2011 | 2012 | 2013 | 平均 | 2011 | 2012 | 2013 | 平均 |
| 垣根 | 8.5 | 8.0 | 6.5 | 7.7 | 19.9 | 17.1 | 14.5 | 17.2 |
| 立木 | 8.9 | 8.4 | 6.1 | 7.8 | 17.8 | 20.5 | 14.3 | 17.5 |

表3 「紅秀峰」成園時の主要作業時間

(2013年 整枝剪定・夏期管理：10a 当たり^{z)}、収穫：10kg 当たり)

| 仕立て法 | 整枝剪定 [A] | 夏期管理 (摘心) [B] | [A] + [B] | 収穫 |
|----------------------|------------|------------------|------------|-----------|
| 垣根 | 38 時間 24 分 | 24 時間 | 62 時間 24 分 | 1 時間 26 分 |
| 立木 | 57 時間 12 分 | 11 時間 12 分 | 68 時間 24 分 | 1 時間 38 分 |
| 対比 ^{y)} (%) | 67 | 214 | 91 | 88 |

z) 10a 当たり植栽本数を以下の場合として算出

垣根仕立て：80本 立木仕立て：40本

y) 垣根/立木×100

(及川耳呂)

[その他]

研究課題名：岩手県におけるアウトウの垣根仕立て栽培法の確立

予算区分：県単

研究期間：2008-2013 年度

研究担当者：及川耳呂